

いちご組だより

2022年9月発行

尚徳福祉会

おぐら保育園



早くも入園してから半年になろうとしています。子どもたちの成長も日々感じられるようになり、喃語や表現方法も豊かになってきました。

出来ることがどんどん増えてきたことによって、やりたいことにも積極的な子どもたち。そのような姿を大切にしながら温かく見守っていきたいと思います。



花火だ！とど～ん！

制作では紙コップを扇状に切ったものを使って、三色の絵の具でスタンプをしました。

準備中から興味津々に近づく子が増え、席に着いてから目の前に紙コップが用意されると手に取ってみようとする姿が見られました。先生と一緒にポンポンとスタンプしていくとどんどん広がる花火に不思議そうにしながらも「うわあ～！」と言って目を輝かせて楽しんでいました。スタンプが終わってからも、そこから絵の具を指でなぞってみたり、手のひらで叩いてみたりして一人一人違った楽しみ方をしていました。



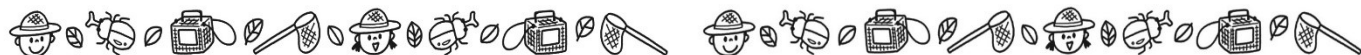
給食もりもりたべるぞ！

完了食の子たちは、自分の力でスプーンを使って食べてみようとする姿が見られます。離乳食の子たちも手掴み食べをしてみようとする姿が少しずつ見られるようになってきました。その反面、好き嫌いも出てきました。無理のない程度で声かけをしていながら、楽しく食べられるようにしています。



水冷たいね！

体調の変化や気温によって水遊びが難しい日でも、室内で夏らしい遊びを楽しめるようにしました。トンネルに青いスズランテープのカーテンをぶら下げてシャワートンネルを設置してみたり、氷を用意してみたりすると、子どもたちは興味津々に♪特に氷は触った時の感触や冷たさに目を瞬かせながら、触れては手を引っ込めるなど面白い反応が見られました。



おねがい

※季節の移り変わりは気温差が激しい時期でもあるので、気候に合わせて調節がしやすいよう、着替えの用意をお願いいたします。

※爪切りをしてもとがっている子がいます。爪切りの際確認をお願いいたします。

